

JR陸羽東線の利活用促進 にかかると職員アンケート 調査結果

【目次】

- 1 調査概要 p. 1
- 2 質問項目 p. 2～
- 3 集計結果 p. 4～
- 4 集計結果に関する概要 p. 11～

令和4年10月

大崎市市民協働推進部まちづくり推進課

1 調査概要

(1) 調査目的

このアンケートは、令和4年7月28日に、JR東日本から利用が少ない路線が開示されたことを踏まえ、JR陸羽東線の沿線自治体である本市としての利活用促進策を検討するにあたり、職員に対し通勤における公共交通機関の利用状況把握及び陸羽東線の利活用促進に対するアイデアを募集するために実施したものです。

(2) 調査対象

令和4年9月5日時点で本庁舎及び総合支所庁舎等で勤務する部長職以下の正職員 950名

(3) 調査方法

内部情報系T o d o機能

(4) 調査期間

令和4年9月5日（月）から9月15日（木）

(5) 回答数等（調査対象数比）

開封数：781（82.2%）

回答数：675（71.0%）

※報告書の表記

本報告書では、集計結果の数値を、特に断りのない限り、小数点第四位で四捨五入しています。そのため、各回答の合計が100%に一致しない場合があります。

2 質問項目

Q. 1 【皆さんに質問です。】

あなたの現在の主な通勤手段を以下から1つ選んでください。複数の場合は、最も距離が長いものを回答してください。

- ・自家用車（送迎を含む）
- ・新幹線
- ・電車（列車を含む）
- ・バス（高速バス含む）
- ・徒歩または自転車
- ・その他（具体的な手段を記入してください）

Q. 2 【Q. 1で通勤手段を「自家用車」と回答した方に質問です。】

「自家用車（送迎含む）」以外で通勤する場合、現時点で考えられる主な通勤手段を以下から1つ選んでください。（複数の場合は、最も通勤距離が長いものを回答してください。）

- ・新幹線
- ・電車（東北本線のほか石巻線を含む）
- ・列車（陸羽東線）
- ・バス（高速バス含む）
- ・徒歩または自転車
- ・その他（具体的な手段を記入してください）

Q. 3 【Q. 2で自家用車以外の通勤手段を「列車」と回答した方に質問です。】

（1）ご自宅から最寄りの駅を教えてください。

〈自由記述欄〉

（2）現在、列車（陸羽東線）を利用することが難しい理由について、最も当てはまるものを以下から1つ選んでください。

- ・自宅から最寄り駅まで遠いから（例：自宅から最寄り駅まで徒歩30分以上の距離がある）
- ・勤務地近辺（例：最寄駅から徒歩15分以内）に駅が無いから
- ・自家用車による通勤よりも通勤時間が長くなるから
- ・天候による遅延・運休に左右されずに通勤したいから
- ・出勤・退勤するのにちょうどいいダイヤが無いから（例：希望する時間から1時間以上差がある、出勤に間に合うような乗り換えが難しい）
- ・最寄り駅が無人駅で周辺も人気がなく、防犯の観点から利用することに抵抗があるから

- ・最寄り駅が IC カード非対応のため不便に感じるから
- ・帰り道での買い物や家族の送迎ができず不便だから
- ・身体上・健康上の理由により自家用車以外の手段をとることが難しいから
- ・その他（上記以外の理由を記入してください）

Q. 4 【Q. 3（2）で「出勤・退勤するのにちょうどいいダイヤが無いから」と答えた方に質問です】

出勤時間及び退勤時間の調整が可能であれば、利用を検討しますか。

- ・はい
- ・いいえ

Q. 5 【Q. 1で主な通勤手段を「新幹線」「電車」「バス」と回答した方に質問です】

公共交通機関を利用している理由について、以下から一つ選んで教えてください。

- ・自家用車による通勤より通勤代が安いから
- ・自家用車を所有していないから
- ・自動車運転免許等を取得していない（運転免許の自主返納を含む）から
- ・健康を意識しているから
- ・交通渋滞に関係なく通勤できるから
- ・勤務地近辺に駐車場を借りられなかったから
- ・その他（上記以外の理由を記入してください）

Q. 6 【皆さんにお伺いします】

JR 陸羽東線の利活用促進に向けたアイデアを記入してください。実現可能性は考慮せず、自由な発想で記入してください。

（例）短期的（すぐに取り組みそうな取組み、短期間の取組み）

- ・芸能人に1日駅長をしてもらう
- ・観光客を呼び込めるようなイベント列車を走らせる

中長期的（実施までの調査に時間を要するような取組み、継続性のある取組み）

- ・職員の通勤手段を、原則公共交通機関とする
- ・BRT（既存線路を活用したバスによる高速輸送システム）化する

また、通勤に陸羽東線を利用している方は、陸羽東線の通勤利用へのおすすめポイントをご記入ください。

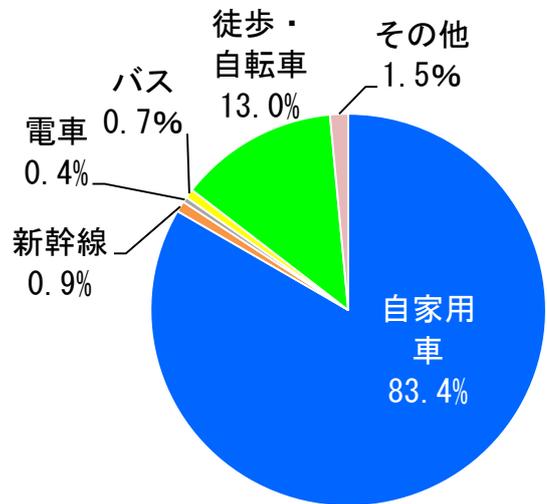
3 集計結果

Q. 1 【皆さんに質問です。】

あなたの現在の主な通勤手段を以下から1つ選んでください。複数の場合は、最も距離が長いものを回答してください。

[全体] N = 675

| 項目 | 人数 | 割合 (%) | |
|-------------|-----|--------|--|
| 自家用車 | 563 | 83.4% | |
| 新幹線 | 6 | 0.9% | |
| 電車(列車を含む) | 3 | 0.4% | |
| バス(高速バスを含む) | 5 | 0.7% | |
| 徒歩または自転車 | 88 | 13.0% | |
| その他※ | 10 | 1.5% | |



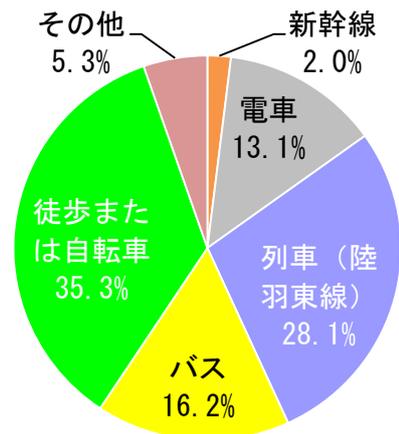
※未回答

Q. 2 【Q.1で通勤手段を「自家用車」と回答した方に質問です。】

「自家用車(送迎含む)」以外で通勤する場合、現時点で考えられる主な通勤手段を以下から1つ選んでください。(複数の場合は、最も通勤距離が長いものを回答してください。)

[全体] N = 563

| 項目 | 人数 | 割合 (%) | |
|-------------------|-----|--------|--|
| 新幹線 | 11 | 2.0% | |
| 電車(東北本線のほか石巻線を含む) | 74 | 13.1% | |
| 列車(陸羽東線) | 158 | 28.1% | |
| バス(高速バス含む) | 91 | 16.2% | |
| 徒歩または自転車 | 199 | 35.3% | |
| その他※ | 30 | 5.3% | |

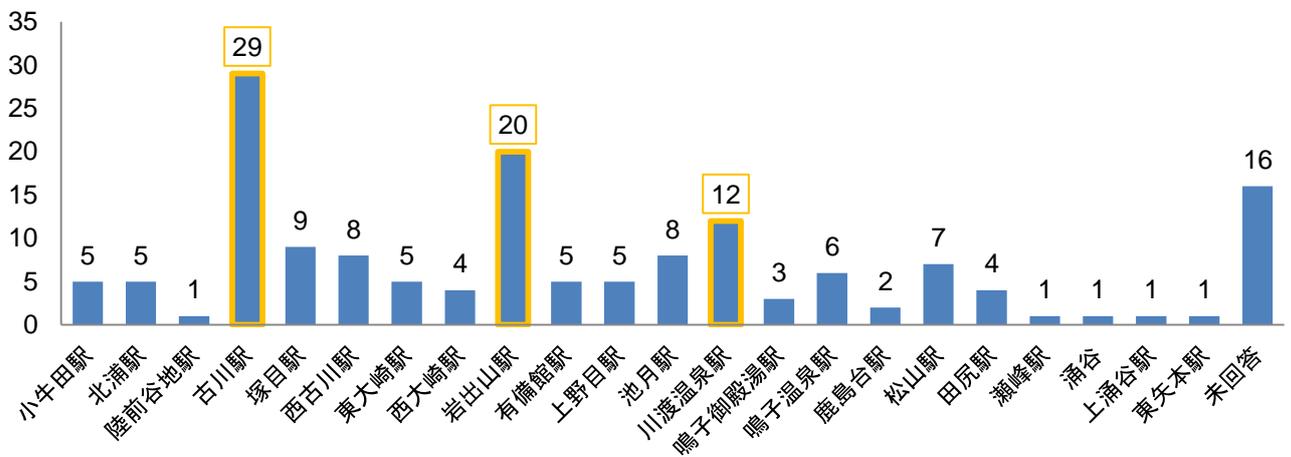


※バイク、自家用車以外難しい など

Q. 3 【Q. 2で自家用車以外の通勤手段を「列車」と回答した方に質問です。】

(1) ご自宅から最寄りの駅を教えてください。(自由記述*1)

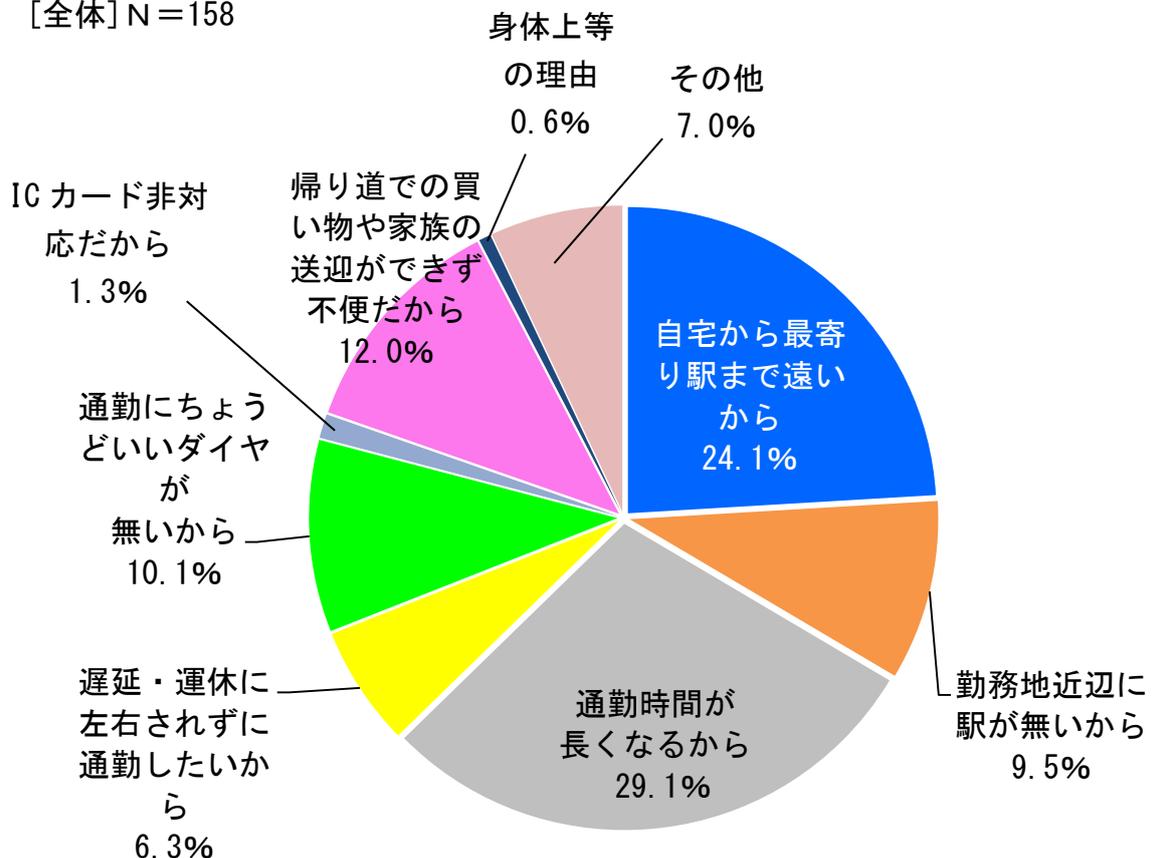
[全体] N = 158



*1 古川駅または塚目駅、のように複数の駅の回答は、古川駅に近い駅を計上しています。

(2) 現在、列車（陸羽東線）を利用することが難しい理由について、最も当てはまるものを以下から1つ選んでください。

[全体] N = 158



| 選択項目 | 人数 | 割合(%) | |
|---|----|-------|--|
| 自宅から最寄り駅まで遠いから(例:自宅から最寄り駅まで徒歩30分以上の距離がある) | 38 | 24.1% | |
| 勤務地近辺(例:最寄駅から徒歩15分以内)に駅が無いから | 15 | 9.5% | |
| 自家用車による通勤よりも通勤時間が長くなるから | 46 | 29.1% | |
| 天候による遅延・運休に左右されずに通勤したいから | 10 | 6.3% | |
| 出勤・退勤するのにちょうどいいダイヤが無いから(例:希望する時間から1時間以上差がある,出勤に間に合うような乗り換えが難しい) | 16 | 10.1% | |
| 最寄り駅が無人駅で周辺も人気がなく,防犯の観点から利用することに抵抗があるから | 0 | 0.0% | |
| 最寄り駅がICカード非対応のため不便を感じるから | 2 | 1.3% | |
| 帰り道での買い物や家族の送迎ができず不便だから | 19 | 12.0% | |
| 身体上・健康上の理由により自家用車以外の手段をとることが難しいから | 1 | 0.6% | |
| その他※ | 11 | 7.0% | |

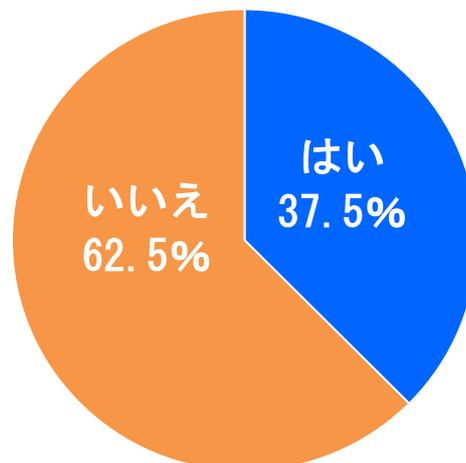
※通勤途中で体調が悪くなったときに融通が利かない, 選択肢の理由のほかに座れるか確実にないこと, 隣に座る人がどんな人か不安を感じる など

Q. 4 【Q. 3 (2) で「出勤・退勤するのにちょうどいいダイヤが無いから」と答えた方に質問です】

出勤時間及び退勤時間の調整が可能であれば, 利用を検討しますか。

[全体] N=16

| 選択項目 | 人数 | 割合(%) | |
|------|----|-------|--|
| はい | 6 | 37.5% | |
| いいえ | 10 | 62.5% | |



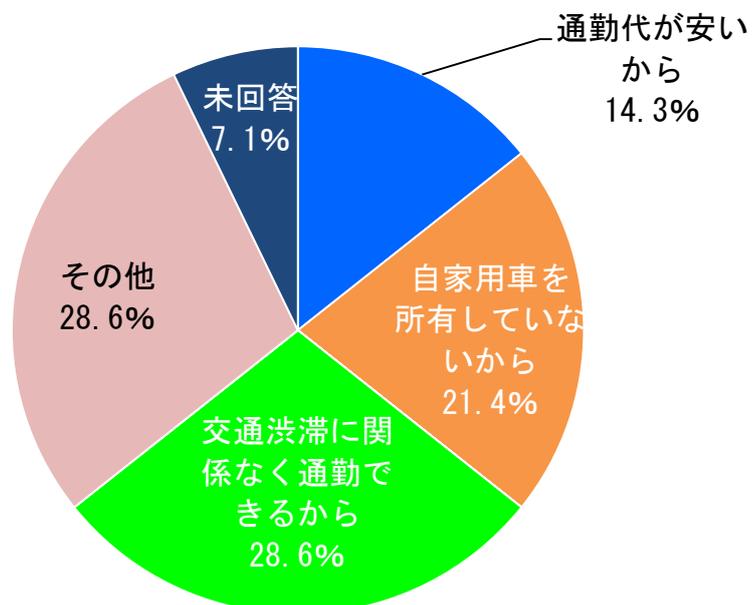
Q. 5 【Q. 1で主な通勤手段を「新幹線」「電車」「バス」と回答した方に質問です】

公共交通機関を利用している理由について、以下から一つ選んで教えてください。

[全体] N=14

| 選択項目 | 人数 | 割合(%) |
|----------------------------------|----|-------|
| 自家用車による通勤より通勤代が安いから | 2 | 14.3% |
| 自家用車を所有していないから | 3 | 21.4% |
| 自動車運転免許等を取得していない(運転免許の自主返納を含む)から | 0 | 0.0% |
| 健康を意識しているから | 0 | 0.0% |
| 交通渋滞に関係なく通勤できるから | 4 | 28.6% |
| 勤務地近辺に駐車場を借りられなかったから | 0 | 0.0% |
| その他※ | 4 | 28.6% |
| 未回答 | 1 | 7.1% |

※通勤時間を余暇の時間に充てている、自家用車より通勤時間が短い など



Q. 6 【皆さんにお伺いします】

JR 陸羽東線の利活用促進に向けたアイデアを記入してください。

実現可能性は考慮せず、自由な発想で記入してください。（自由記述）

【短期的】

- 鳴子温泉地域（吹上キャンプ場など）で大規模なイベントを開催する（大型コンサート等のイベント参加者は公共交通機関が多い印象がある）。
- 鳴子温泉地域・岩出山地域で開催される、こけし祭りや政宗公祭りの来場に陸羽東線の利用を促す。
- ビアガーデンのような、車を利用しては来られないイベントを沿線地域で開催する。
- 歩数チャレンジなどの健康をテーマにした取組みとコラボしたイベントを企画する。
- 温泉地や各駅でスタンプラリーを開催して、スタンプを集めると景品がもらえるようにする。
- あえて自虐的な宣伝をする。
- ユーチューバーに宣伝してもらう。
- 各駅の待合室をきれいにする。
- （陸羽東線を使って）旅番組に来てもらう。
- 子供や鉄道ファン向けの取組みとして、1日車掌（職業）体験を実施する。
- 陸羽東線に「陸羽当選」というイメージを持たせ、「乗ると宝くじ等の御利益があるかもしれない」列車として宣伝する。
- 各駅にシェアサイクルやレンタルサイクルを整備する。
- 車窓からの見どころスポットや観光マップを作成する。
- フォトスポットをつくる。

【中長期的】

- BRT 化して、駐車場の増加、観光ルートの周遊、運行本数の増加をして利便性を向上させる。ただし降雪地帯の問題のクリアを要する。電気または水素自動車化すると環境にも配慮できる。
- 上下分離方式を導入する。
- DMVを導入する（※1）。
- 物資列車を運行する（昭和 40 年代前半まで運行していた記憶がある。現代で実施するなら、特産物列車の運行か）
- 貨客混載を実施する。
- ラッピング車両（例：アニメ、ドラマ、こけし、伊達政宗、広告、国鉄時代のカラーリング など）を運行する。運行に合わせて、コラボ切符も販売する。
- イベント列車（例：こたつ列車、トロッコ列車、スイーツ列車、足湯列車、地酒列車 など）や SL などを運行する。
- 会議やパーティー、個展の開催に列車を貸し出す。
- 週末限定でペットと乗車可能にする。
- 「ダムカード」（※2）のような「駅カード」を作る。
- パタ崎さんのカプセルトイを各駅に設置する。
- 陸羽東線沿線に大学などの教育機関や企業を誘致する。
- 観光用に古川（仙台）～鳴子温泉間ノンストップ列車を運行する。
- サイクリングの人用に、たまたまにそのまま自転車を車内に持ち込めるようにする（※3）。
- 特色ある乗車券（宿泊券や金券付、鳴子温泉や道の駅で特典が受けられるもの）や 1 日フリーパスを販売する。
- 市職員の通勤を、原則公共交通機関とする。実施するにあたっては対象を絞り（例：自宅から駅まで徒歩〇分以内、新規採用職員など）、自宅から駅、または駅から通勤場所までの交通手段の確保・支援を行う。交通手段の確保は、駅から通勤場所まで小型バスを運行するなど。
- フレックスタイム制を導入して公共交通機関を通勤に利用しやすくする。
- 公共交通機関を利用する従業員の割合が全体の 50%を超える企業の法人税を減額する。
- 土日祝日を観光客向けの運行ダイヤにするなど、平日と土日で運行ダイヤを変える。
- 校外学習や生涯学習事業等で小学生に利用してもらう。
- 大崎市運転免許自主返納支援事業の対象を拡大して、電車・列車の運賃にも使えるようにする。
- 自宅から最寄り駅までのタクシー券を交付する。
- ふるさと納税の返礼品に陸羽東線に関連したものを設定する（例：イベント列車の乗車券など）。
- バス（鳴子線）を廃止する。

- 東北本線，新幹線との乗り継ぎを改善する。
- パタP A Yで乗れるようにする。
- 陸羽東線を舞台にしたドラマや映画を作成する。
- 駅前の飲食店を増やしたり，鳴子温泉郷を活性化するなど，駅周辺地域を盛り上げる。
- 沿線環境を整備する（桜並木の整備，樹木の剪定，草刈り，田んぼアートなど）。
- 道の駅の最寄り駅である「池月駅」の環境を整備する。
- 悪天候時に自動車の代替手段となるように，沿線に防風防雪柵を設置する。

※1 DMV（デュアル・モード・ビークル）について

DMVとは，線路と道路の両方を走る車両。阿佐海岸鉄道（本社：徳島県）で運用されており，世界初の事例となっている。

※2「ダムカード」

国土交通省独立行政法人水資源機構が管理するダムにおいて，訪問客に対し配布されるカード。表面がダムの写真，裏面がダムの詳細情報を掲載している。



ダムカード見本：国土交通省 HP より引用

※3 自転車の持ち込みについて

現在，JR 東日本では，持ち込める荷物はタテ・ヨコ・高さの合計が 250 cm（長さは 2 mまで）以内，重さ 30 kg 以内のものを 2 個までとしており，サイクリングやスポーツ大会などに使用する自転車は，解体し専用の袋に収納したもの，または折り畳み自転車においては折りたたんで専用の袋に収納したものとしており，乗る形のままの持ち込みは不可とされている。

4 集計結果に関する概要

●通勤手段について

- ・ 職員のうち、計8割程度が自家用車を通勤手段に使っており、公共交通機関（新幹線、電車または列車、バス等）を使う人は計1割にも届かない状況です。
- ・ 現在、通勤手段に「自家用車」を使用している人のうち、自家用車以外で通う場合に、公共交通機関を代替手段に考える人は計6割程度、そのうち列車（陸羽東線）を代替手段とする人は計5割程度（全体でみると計3割程度）という結果でした。また、代替手段に「徒歩・自転車」と考える人は約4割程度存在し、勤務地近辺に居住している人の多くが自家用車によって通勤していることが伺えます。
- ・ 列車を代替手段とする人の最寄り駅は古川駅、岩出山駅、川渡温泉駅が多いですが、古川駅から鳴子温泉駅までのすべての駅が最寄り駅と回答されている状況です。

●公共交通機関を通勤手段に使用することについて

- ・ 通勤の代替手段に陸羽東線を考える人のうち、現在通勤手段として利用が難しい理由に、計3割程度の方が自家用車よりも通勤時間が長くなること、次いで、2割強の方が自宅から最寄り駅まで遠いことを挙げており、利便性のほか、駅までのアクセスが陸羽東線利用の壁となっている状況です。
- ・ 出勤または退勤時間にちょうどいいダイヤが無いことから、陸羽東線を通勤手段として使うことに抵抗を感じる人は計1割程度おり、そのうち勤務時間の調整が可能であれば利用を検討する人は計4割程度の状況です。
- ・ 公共交通機関を通勤手段に使用している人は、交通渋滞に関係なく通勤できることや、通勤代の節約などの理由のほかに、通勤時間を余暇に充てている人もいます。

●JR 陸羽東線の利活用促進に向けたアイデアについて

【短期的】

- ・ 待合室の清掃や、沿線の樹木、雑草の手入れなど、駅・沿線の環境整備が不十分であるとの意見も寄せられました。
- ・ 陸羽東線の宣伝アイデアには、旅番組の企画やユーチューバーの起用のほか、「当選」とかけて「陸羽当選」とし、「乗ると御利益があるかもしれない」というような宣伝をする、などの意見が寄せられました。

【中長期的】

- ・ BRT 化して停車場（駅）を増やすことで、観光ルートを周遊できるようにしたり、運行本数を増加させたりするなどして利便性を向上させるとの意見が一定数挙げられました。懸念事項として、冬場の降雪地帯の走行が挙げられました。
- ・ 年間パスポートや、1日フリー乗車券など、定額制乗車券販売のアイデアが多く挙げられました。
- ・ 職員の通勤手段を原則公共交通機関とすることについては、対象職員を駅から徒歩〇分以内の者や新規採用職員など限定して実施する案も挙げられました。
また、JR を利用する場合の支援について、各駅から勤務地までの交通手段の整備や、駅から自宅（勤務地）間など JR 利用以外にかかる費用の補助、駅周辺駐車場の整備などが挙げられたほか、駅から自宅（勤務地）への交通手段（二次交通）が課題であることが伺えます。災害時の出勤方法も検討課題です。
- ・ ラッピング列車の運行や、特色のある乗車券（温泉入浴券とセットになった乗車券等）の販売、沿線地域でイベントの開催など、観光と関連したアイデアが多く挙げられました。沿線地域でイベントを実施する場合、陸羽東線で来場すると特典があるイベントと、ビアガーデンのように自家用車以外の交通手段（公共交通機関の利用）による来場を促すものの2種類が挙げられました。
- ・ 大崎市運転免許自主返納支援事業の対象を拡大して、市民バスのほかに電車の運賃も対象とすることや、イベント列車の乗車券をふるさと納税の返礼品とするなど、制度の拡充によって利活用促進を図ることの可能性が伺えます。
- ・ 新幹線や他の路線との乗り換え時間の短縮や、仙台（古川）から鳴子温泉駅までノンストップで走行する列車の運行など、利便性の向上に向けた意見が多く挙げられました。

●現状と課題

- ・ 陸羽東線の乗車時間が長いことや、仙台から鳴子温泉まで利用する場合に乗り換えが必要であり、かつ乗り換えるための待ち時間が長いことなどの解消を求めるアイデアが一定数あることから、利便性の確保が求められています。
- ・ 陸羽東線自体の利便性向上だけでなく、駅から目的地までの交通手段（二次交通）の確保も課題となっています。
- ・ 利用するきっかけとなるようなイベントを開催する案が一定数挙げられたことや、沿線地域の活性化についても触れる意見があったことから、観光及びまちづくりの観点からも利用推進策の検討が必要です。

●今後の取組み

- ・職員を対象として、定期的に陸羽東線等の公共交通機関の利用を促す「チャレンジデー」を設けるなどし、利用の増加を図ると共に、実際に利用してみたの感想を収集し、利便性向上に向けた方策を探ります。
- ・市ウェブサイトや広報誌を活用し、広く市民等から提案を募り、利活用推進の参考とします。